

第4回ヘルスデータアナリティクス・マネジメント研究会

日本医療・病院管理学会 第381回 例会

ヘルスサービスに貢献する 新しいデータサイエンスのアプローチ

【主催】 一般社団法人ヘルスデータサイエンティスト協会

一般社団法人日本医療・病院管理学会

【共催】 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構統計数理研究所共同研究

「医療・看護・保健分野におけるデータサイエンティスト育成のためのシステム構築の検討」

【後援】 統計数理研究所 医療健康データ科学研究センター、日本統計学会統計教育分科会、

オムロンヘルスケア株式会社、株式会社医療経営研究所、株式会社ウォームハーツ、

株式会社オデッセイコミュニケーションズ、株式会社 Open Health Initiative、

株式会社社会保険研究所、株式会社 JMDC、株式会社タクミインフォメーションテクノ

ロジー、株式会社バイタルネット、株式会社フェース、株式会社分子生理化学研究

所、株式会社メディカルデータ、株式会社リコー、スリーワンシステムズ株式会社

【日時】 令和2年1月19日(日) 15時30分～18時00分

【場所】 慶應義塾大学三田キャンパス 西校舎517教室

【開催趣旨】

近年、ヘルスケアの領域において収集・蓄積されるリアルワールドデータを利活用し、新しいヘルスサービスの価値創造に如何に結びつけるのかに関心が集まっています。そのための方法論がデータアナリティクスです。しかし、まだ具体的な分析事例の検討は不十分で、教育の方法が標準化されていないのも事実です。ヘルスデータサイエンティスト協会では、これまで、データアナリティクスの方法論を理解するための講演や活用事例の紹介をおこなって参りました。

今回は、ヘルスデータサイエンティスト協会と日本医療・病院管理学会とが共同で、「ヘルスサービスに貢献する新しいデータサイエンスのアプローチ」と題して、品質管理学、および、マーケティングリサーチの分野から、それぞれ第一人者の先生方をお招きし、ご講演をお願いすることができました。これまでになかった新しい視点が、ヘルスケア、医療・病院管理学にもたらされることを期待しています。

【プログラム】

15:30～15:35 開会挨拶

15:35～16:45 講演1

椿 広計 氏(大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構統計数理研究所所長)

『品質管理学の視点から』

16:45～16:55 休憩

16:55～17:55 講演2

鈴木 秀男 氏(慶應義塾大学理工学部教授)

『マーケティングリサーチの視点から』

17:55～18:00 閉会挨拶